

エグゼクティブサマリー（要約）

取組名称	地域の資源を世界にシェア & シン・ふるさとスイーツ開発 ～水と繊維でつなぐ & すこ。～			団体設立後の経過年数	3 年
応募取組主体名称	福井県立大野高等学校 JRC「結」	活動地域	福井県	応募取組の活動年数	2 年
取組主体の種類	企業 / 学校 / NPO・任意団体 / 自治体 / 地域コミュニティ / 個人 / ユース部門 (概ね 30 代以下の次世代を担う若手を中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください) / その他				
応募取組に関連する 実行委員会特別賞	サステナブルデザイン賞 / 子どもエンパワーメント賞 / 環境と福祉賞 / 環境地域ブランディング賞 / 環境ひとづくり賞 / 環境社会イノベーション賞 / 地球と人への想いやり賞 / SDGs ビジネス賞 / EXPO2025 いのち動的平衡賞				



取組の要旨
福井県大野市、私たちの地域の強み「水・繊維・里芋」の力を生かして、世界の困っている人々をボランティア活動で支援している。「越前大野名水マラソン」他で東ティモールへ水支援、校内で「古着おすわけプロジェクト」でパキスタンへ教育支援、「つなぐプロジェクト」として地域でエコ活動、多世代交流と伝統文化の継承活動を行っている。郷土料理「すこ」をスイーツに応用し「すこスコーン」を開発した。
実績の要旨
東ティモールの山間部ではきれいな水が手に入りにくい。大野市では町を上げて水環境を支援している。2016 年から「越前大野名水マラソン」ボランティアなどで支援を行ってきた。コロナ禍以降も高校生がマラソン会場のパネル展示や合唱チャリティーで支援金を集めている。これまでに 6 基の重力式給水システムが完成し、女性や子どもが水くみから解放された。また、古着の提供を呼びかけ、収益をパキスタンのスラム地区での学校運営に役立てている。エコ活動やまちおこし活動にも力を入れるようになり、2023 年にはふるさとスイーツが完成した。

取組評価の要旨	環境への貢献	東ティモールへ重力式給水設備を設置、古着・プラスチック・古本の再利用ができた。里芋の茎を廃棄せずスイーツに取り入れた。
	社会・経済への貢献	地域の関係人口を増やし、オンライン交流など、人の交流と学び合いができるように。「すこスコーン」は来月から県内食のイベントで販売予定。
	地域資源の活用	私たちが豊かに持っている大野市「地下水」、福井県の丈夫で発色が良い「繊維」、「里芋の茎」を社会貢献に役立てている。
	普及・汎用性	「福井 SDGs アワード」や高校生の「ボランティア、エコ活動」の大会に出場し、他校からもヒントをいただき、多くの人と交流している。
	革新・ユニーク性	東ティモールやパキスタンと大野市、大野高校という縁から国際交流が生まれ、交流のきっかけとなった。廃棄食材を可食部としてよみがえらせた。
	継続性	大野市（一社）CWP、JFSA などと協働し、上級生から下級生へ毎年活動を繋げている。名水マラソンは小学生から参加している生徒もいる。
展望の要旨		活動を世界と大野市の架け橋としてさらに広げ、来春の北陸新幹線の福井延伸以降は、「すこ」スイーツ拡大など大野市の魅力を発信したい。